



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

株式会社さつまホーム企画室
地球やりのおし計画
事務局

臨時特集 G8-ハイリゲンダム・サミット

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。最近新聞を眺めていますと、地球温暖化関連の記事がトップ面のどこかに載らない日は無い…というくらい、この問題に対する関心というか、危機感が高まってきているのを感じます。そして、今月7,8日にドイツのハイリゲンダムで開催されたG8先進国首脳会議～サミット～では、サミット史上初めて、地球温暖化問題が中心議題の一つとして取り上げられました。今回は予定を変更して、サミットの成果とその前後の各国の動きを確認します。



各国の思惑が激突！実効性は？…G8ハイリゲンダム・サミット

議長総括に温室効果ガス削減の決意

ドイツのメルケル首相が6月8日に発表した議長総括には、温暖化防止関連では次の3項目が盛り込まれました。

気候変動は自然環境と世界経済に深刻な被害を与える恐れがある。50年までに温室効果ガスを少なくとも半減するという欧州連合、カナダ、日本の決定を真剣に検討する。

すべての主要な温室効果ガス排出国が京都議定書後の包括合意に加わるよう、12月のインドネシアでの国連気候変動枠組み条約締約国会議に参加を呼びかける。

技術、エネルギー効率、排出権取引や免税措置を含む市場メカニズムは、気候変動を克服する鍵となる。

米の方針転換を歓迎

現時点で世界最大のCO2排出国でありながら、京都議定書の批准を拒み続けて来た米国は、初めて温室効果ガスの排出量に削減目標を設ける考えを明らかにしました。またサミット直前には、温暖化ガス削減に向けて中国、インドなど主要排出国を含めた15カ国による国際的な枠組みをつくり、2008年末までに長期的な削減

目標を策定する提案も発表。内外の世論の大批判を受け、大統領選に向けて他の選択肢が無かったこともあり、今後の交渉の主導権を握ろうとする意図も見え隠れしますが、米国のこの方針転換はひとまずサミットで歓迎されました。

慎重派のカナダがEUに歩み寄り

温室効果ガスの削減目標設定に積極的な欧州連合(EU)と米国が綱引きを続けている最中、メルケル独首相らEU首脳とハーパー・カナダ首相が4日に会談し「2050年までに06年比で6~7割削減」との目標で一致しました。慎重派

だったカナダが欧州に歩み寄ったことは、米国の方針にも影響を与えたものと思われます。

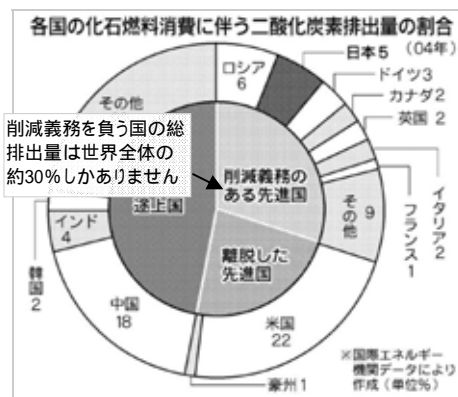
中国は削減義務受入れを拒絶

CO2排出量第2位の中国は、6月4日に発表した気候変動対策計画の中で、初めてCO2排出量の削減目標を公表。エネルギー分野で2010年までにCO2換算で計9億5000万トン分を削減するとしています。中国は単位GDP当りの排出量20%削減も明言しているものの、経済成長率の高さから総量では増加となる見通しで、義務としての総排出量削減目標は依然拒否。中国の胡錦濤国家主席はサミット席上で「途上国にはエネルギー消費により発展する権利がある」とし、先進国が率先して義務を負うべきだとの考えを改めて強調しました。

玉虫色決着？

議長総括の「真剣に検討」は削減量の数値目標設定に積極的な日本、EUと、それに反発する米国、途上国各国の双方に配慮した「玉虫色決着」とも受け取れ、その実効性に疑問も残りません。数値目標策定などの課題は来年の「洞爺湖サミット」へ先送りされました。舞台は日本です。

(参考サイト:下記「情報リンク」欄に記載)



トピック

CO2削減で中小の省エネ投資支援

政府は中小企業が生産設備の更新などで温暖化ガスの排出を減らした場合に、削減分を排出権として大企業に売って資金を得る市場を創設する。2008年春をメドに導入し、日本の産業全体のエネルギー効率引き上げを目指す。

日本周辺の海面水温、過去100年で世界平均の3倍上昇

気象庁。日本周辺の海面水温が過去100年間で、世界平均値と比べて最大で3倍強の0.7 1.6度温かくなっていると発表。日本の地上の気温上昇率(100年で1.1度)とも符合。

情報リンク

NIKKEI NET

//<http://www.nikkei.co.jp>

日本経済新聞社が運営する総合ニュースサイト 地球温暖化対策に関する内閣総理大臣演説

<http://www.kantei.go.jp/abespeech/2007/05/24speech.html>

お知らせ バックナンバーをプレゼント

バックナンバー全号をご希望の方に無料贈呈いたします。右記のメールアドレス、FAXか、またはこちらの自動応答ダイヤルでご請求下さい。0120-868-099(無料)

編集後記 エレベータ不使用100%宣言

さつまホームは毎月、新社屋へ移転します。2階建ての建物を1棟丸ごと使いますが、エレベータはついていないので、これで省エネ対策のひとつとして社内でも推進してきた、「エレベータ不使用」は100%達成、やった！…おっと、でも引越しが大変ToT

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com

FAX : 06 - 6855 - 7700

郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-11-47

ステップビル3F (株)さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます